

松阪の初午

— 厄年をめぐる習俗 —

2026年9月29日[火] ▶ 2027年1月17日[日]

岡寺山継松寺の如意輪観音は古くから「厄除け観音」として知られています。江戸時代、「初午会式」は今日と同様に、近隣から集まる厄除け祈願の参詣者で大いに賑わったといえます。江戸時代の記録書には、「厄落とし」に類似する習俗や「厄振廻」といった習俗も紹介されています。本企画展では、おもに松阪の商家に伝えられた初午に関する資料を通して、厄年をめぐるさまざまな習俗とそこに託された人々の想いをご紹介します。



【厄除福引箱】

【展示解説】10/17[土]・1/9[土]11時より20分程度

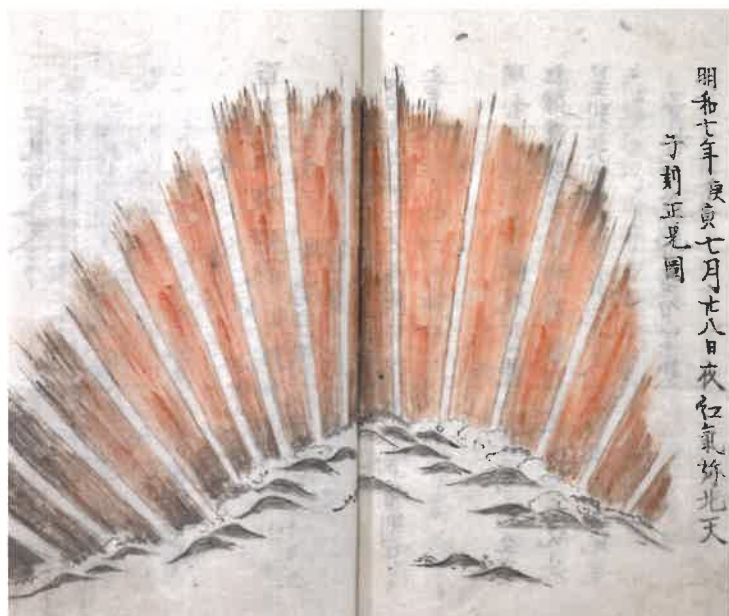
〒515-0081 三重県松阪市本町2195

原田二郎旧宅 企画展

書物がつなぐ殿町

2026年9月1日[火] ▶ 12月20日[日]

松坂城下の殿町には、江戸時代から近代にかけて、本業の傍ら学問や文化に親しんだ人々が暮らし、中には著作を残した人物もいました。また、江戸時代には多くの書物を所蔵した藩校・松坂学問所が置かれ、近代には私立松阪病院の久留院長が雨龍閣文庫を設けるなど、殿町は書物と学びにゆかりの深い地域でした。本展では、殿町ゆかりの人物による著作をはじめ、松坂学問所や雨龍閣文庫に伝わる蔵書・関連資料を展示します。



【星解】（雨龍閣文庫旧蔵）松阪市郷土資料室蔵

【展示解説】10/3[土]・11/21[土]11時より20分程度

〒515-0073 三重県松阪市殿町1290